

社会資本総合整備計画

副次核にふさわしい拠点性の上と安心・安全なまちづくりの推進

平成 28 年 12 月 22 日

千葉県八街市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年12月22日

計画の名称	1 副次核にふさわしい拠点性の向上と安心・安全なまちづくりの推進										重点配分対象の該当																										
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）					交付対象	千葉県、八街市																														
計画の目標	副次核にふさわしい拠点性の向上と安心・安全なまちづくりの推進																																				
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の交通利便性に関する満足度の向上 駅周辺の安全性に関する満足度の向上 まちづくり活動参加数の増加 																																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H26当初)</th> <th>(H30末)</th> <th>(H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>駅周辺居住者や駅利用者を対象に、駅周辺の利便性に関するアンケート調査を実施し、満足度の高さを算出。駅周辺の整備による交通利便性の向上効果を図る。</td> <td>22%</td> <td>—</td> <td>36%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>駅周辺居住者や駅利用者を対象に、駅周辺の安全性に関するアンケート調査を実施し、満足度の高さを算出。駅周辺の整備による安全性の向上効果を図る。</td> <td>15%</td> <td>—</td> <td>25%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年間のまちづくり活動参加者数を計測。事業により、住民によるまちづくり活動を推進するとともに、地域防災や防犯力の向上効果を図る。</td> <td>1,516人/年</td> <td>—</td> <td>2,080人/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H26当初)	(H30末)	(H30末)	駅周辺居住者や駅利用者を対象に、駅周辺の利便性に関するアンケート調査を実施し、満足度の高さを算出。駅周辺の整備による交通利便性の向上効果を図る。	22%	—	36%		駅周辺居住者や駅利用者を対象に、駅周辺の安全性に関するアンケート調査を実施し、満足度の高さを算出。駅周辺の整備による安全性の向上効果を図る。	15%	—	25%		年間のまちづくり活動参加者数を計測。事業により、住民によるまちづくり活動を推進するとともに、地域防災や防犯力の向上効果を図る。	1,516人/年	—	2,080人/年	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																																		
	(H26当初)	(H30末)	(H30末)																																		
駅周辺居住者や駅利用者を対象に、駅周辺の利便性に関するアンケート調査を実施し、満足度の高さを算出。駅周辺の整備による交通利便性の向上効果を図る。	22%	—	36%																																		
駅周辺居住者や駅利用者を対象に、駅周辺の安全性に関するアンケート調査を実施し、満足度の高さを算出。駅周辺の整備による安全性の向上効果を図る。	15%	—	25%																																		
年間のまちづくり活動参加者数を計測。事業により、住民によるまちづくり活動を推進するとともに、地域防災や防犯力の向上効果を図る。	1,516人/年	—	2,080人/年																																		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,837百万円	A	1,829百万円	B	0百万円	C	8百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.4%																									
交付対象事業																																					
A 基幹事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考																				
									H26	H27	H28	H29	H30																								
A-1	都市再生	一般	八街市	直接	八街市	榎戸駅前周辺地区都市再生整備計画事業	駅前広場・東西自由通路等	106ha	八街市						1,829																						
											合計	1,829																									
B 関連社会資本整備事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考																				
									H26	H27	H28	H29	H30																								
											合計	0.0																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																									
C 効果促進事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																						
									H26	H27	H28	H29	H30																								
C-1		一般	八街市	直接	八街市	上下水道整備事業 (自由通路トイレ用)	上下水道整備	港湾・地区名	八街市						8.0																						
											合計	8.0																									
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																									
C-1																																					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																						
									H26	H27	H28	H29	H30																								
											合計																										
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																									

交付金の執行状況

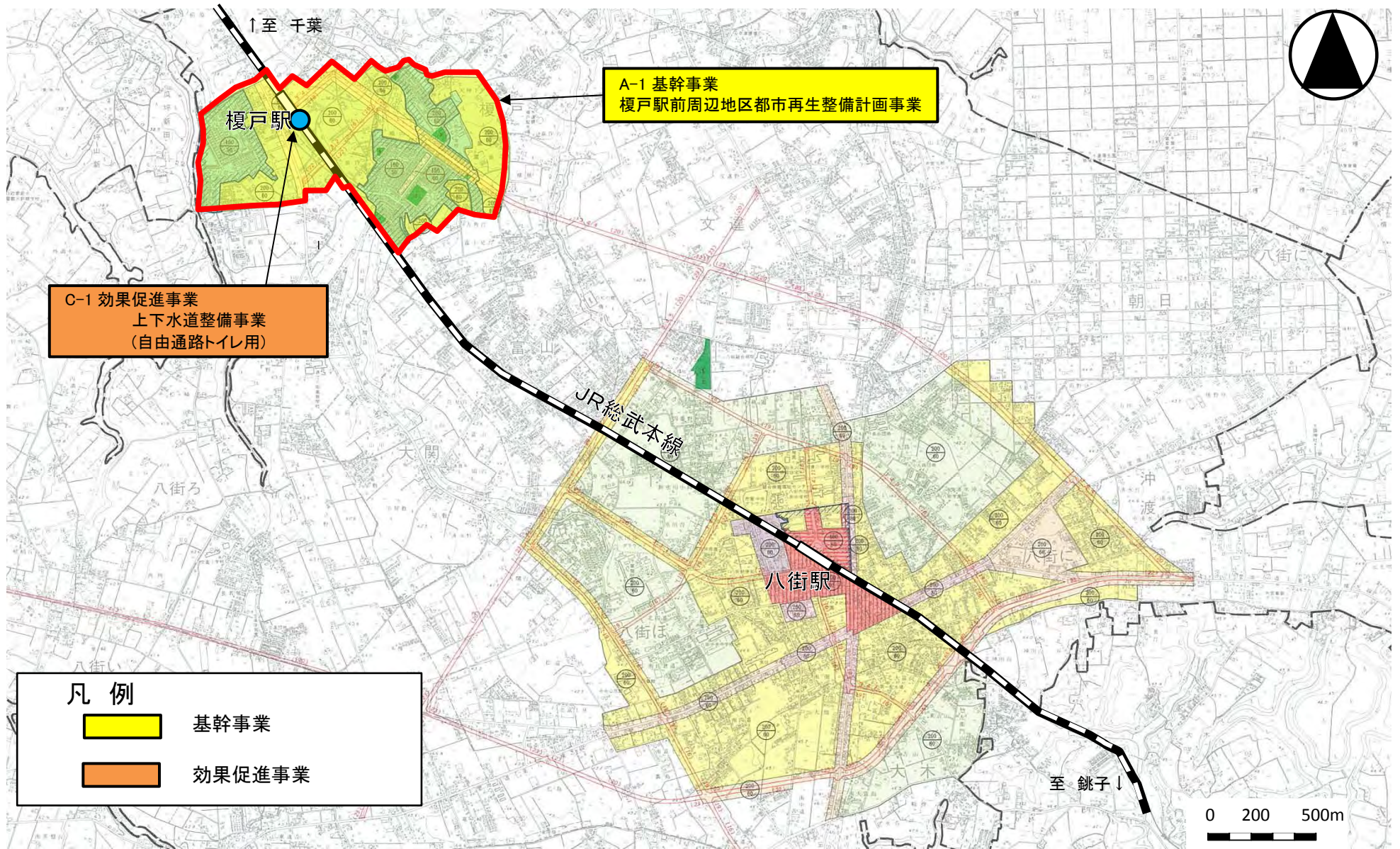
(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	29.82	139.400	0		
計画別流用 増△減額 (b)	0	△20.096	0		
交付額 (c=a+b)	29.82	119.304	0		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	119.304		
支払済額 (e)	29.82	0	0		
翌年度繰越額 (f)	0	119.304	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	118.138			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	99.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由		地域生活基盤施設（東西自由通路）工事について、浜平薬友社が詳細設計を行った際に精査した結果、工事工程に変更が生じ、当初の事業計画が遅延したため。			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金 市街地整備）

計画の名称	副次核にふさわしい拠点性の向上と安心・安全なまちづくりの推進	
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象 千葉県八街市



都市再生整備計画

えのきどえきまえしゅうへん
榎戸駅前周辺地区

ちば 千葉県 やちまたし 八街市

平成28年12月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 駅及び駅前における交通利便性の向上を図る ・片側改札(西側のみ)及び駅前広場が未整備であることにより交通渋滞が発生している為、駅舎及び駅周辺の整備を図り交通渋滞の解消及び利便性の向上を図る。</p>	<p>【基幹事業】 道路事業: 駅西口広場・駅東口駅前 地域生活基盤施設: 東西自由通路</p>
<p>整備方針2 交通安全性の向上及び防犯施設の充実 ・駅舎橋上化整備に併せ、新規に駅前交通広場や車寄せ等を整備し、利用者の利便性の向上を図る。 ・駅周辺の道路整備(歩道のバリアフリー化)を行い、高齢者、障害者、車椅子利用者等の安全性を確保する。 ・東西間をつなぐ自由通路にはエレベーターや多機能公衆用トイレを設け、バリアフリー化を図る。 ・駅周辺道路に防犯灯を整備し、歩行者等の安全性を確保する。</p>	<p>【基幹事業】 道路事業: 市道104号線・駅西口広場・駅東口駅前 地域生活基盤施設: 東西自由通路 【提案事業】 地域創造支援事業: 防犯灯設置 【関連事業】 上下水道整備事業 自由通路トイレ用(社会資本総合整備計画 効果促進事業)</p>
<p>整備方針3 住民活動の促進 ・複戸駅周辺の近隣地区住民による住民活動の促進する。 ・住民参加の交流につながる機会の創出をする。</p>	<p>【基幹事業】 道路事業: 駅西口広場・駅東口駅前 地域生活基盤施設: 東西自由通路</p>
<p>その他</p>	

榎戸駅前周辺地区(千葉県八街市) 整備方針概要図

目標	副次核にふさわしい拠点性の向上と安心・安全なまちづくりの推進 ①駅及び駅前における交通利便性の向上を図る ②交通安全性の向上及び防犯施設の充実 ③住民活動の促進	代表的な指標	駅周辺の交通利便性に関する満足度 (%)	22	(25年度) →	36	(30年度)
			駅周辺の安全性に関する満足度 (%)	15	(25年度) →	25	(30年度)
			まちづくり活動参加者数 (人/年)	1,516	(25年度) →	2,080	(30年度)

